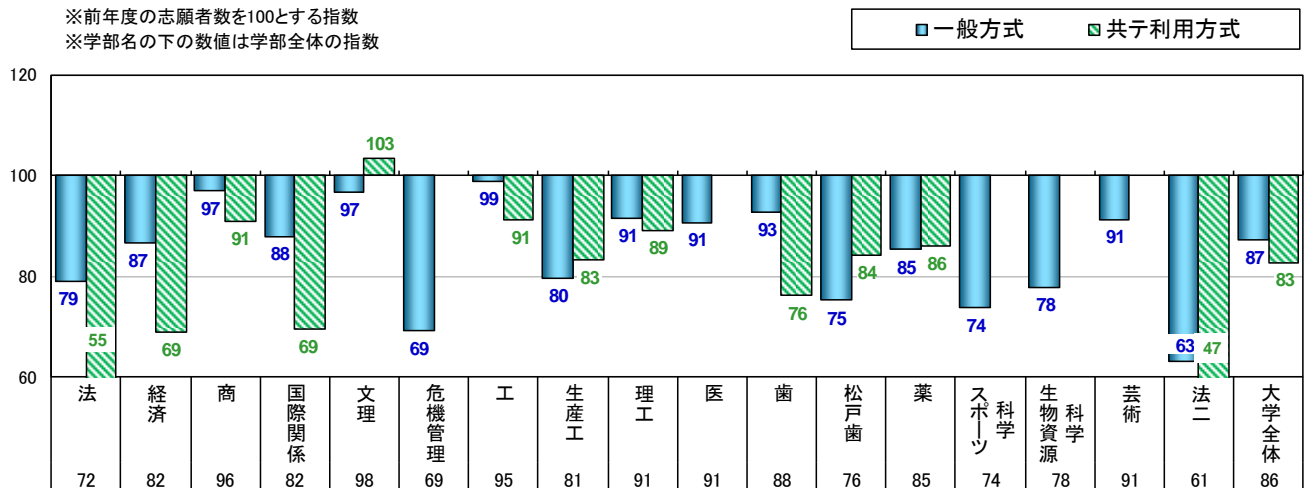


2021 年度入試状況分析【私立大】

日本大：大学全体の志願者数は2年ぶりに10万人を下回る 一般：-10,943人 共テ：-5,011人



入試変更点 提出書類等…「主体性」「多様な人々との協働性」について活動・経験したことを通して自分がどのように成長したかを500文字以内で入力。(合否判定には使用しない)
 選抜方法：新規…文理<N 2期>、生産工<CA方式>
 第二志望制度新規実施…工<A方式>
 第二志望制度廃止…国際関係<A 1期>、<A 2期>、文理<A 1期>
 廃止…文理(化学、国文)<C 2期>、生産工<A 3期>、<C 2期>
 入試科目：文理、生産工<共テ・C方式>…リスニングの成績は利用しない→リスニングの成績を利用
 生産工(マネジメント工、環境安全工、創生デザイン)<N 1期>…数+理+外→数+外+(国 or 理) ※国と数②の組合せは不可
 生物資源科学(森林資源科学、生物環境工)<N 2期>…外+(国 or 歴公 or 数 or 理)→理+外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、15,954人(86)の減少。法二を除いた第一部のみでも同じく(86)の減少。前年度は2019年度入試での大学を取り巻く厳しい環境による減少の反動から増加したが、既卒受験生の減少やコロナ禍による併願校の絞り込みなどが影響して、志願者数は2019年度も下回った。学部別では、全ての学部で減少。文理(98)は微減、商(96)、工(95)はやや減少に留まった。一方で、法二(61)、危機管理(69)、法(72)、スポーツ科学(74)、松戸歯(76)、生物資源科学(78)、生産工(81)、経済(82)、国際関係(82)は大幅減少。

- <一般方式>**
- 法(79)は、大幅減少。学科別では、5学科全てが大幅減少。(法律)(83)を除いた4学科は指数80を下回る大幅減少。特に、(経営法)(71)は減少率が30%近い大幅減少。
 - 経済(87)は、減少。学科別では、3学科全てが減少。(産業経営)(72)は大幅減少。(金融公共経済)(86)は3年連続減少。
 - 商(97)は、2年連続やや減少。学科別では、(商業)(107)が前年度減少の反動でやや増加。(経営)(88)は前年度大幅増加の反動で減少。(会計)(87)は前年度の大幅減少に引き続き減少。
 - 国際関係(88)は、コロナ禍の影響を強く受けた系統の人気低下により減少。学科別では、2学科とも減少で、(国際総合政策)は大幅減少。
 - 文理(97)は、やや減少。新規実施の<N 2期>を除くと、(92)の減少。学科別では、18学科中8学科が2年連続増加、特に(哲学)(119)、(数学)(118)、(中国語中国文化)(117)、(情報科学)(115)は大幅増加。一方で、(ドイツ文)(76)、(体育)(85)は大幅減少。
 - 危機管理(69)は、前年度激増の反動で大幅減少。方式別では、3方式全てが大幅減少。
 - 工(99)は、福島県郡山市にキャンパスがあることから、地方の地元志向の影響で微減に留まった。学科別では、系統への人気が高い(情報工)(118)、(電気電子工)(115)が2年連続大幅増加。一方で、土木工(68)は大幅減少。
 - 生産工(80)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、9学科全てが減少。特に(機械工)(68)、(土木工)(68)、(建築工)(73)、(応用分子化学)(81)、(数理情報工)(82)が大幅減少。
 - 理工(91)は、減少。学科別では、(電子工)(110)は3年連続増加。一方で、(まちづくり工)(76)、(電気工)(79)、(物理)(85)は大幅減少。
 - 医(91)は、3年連続減少。方式別では、<N 1期>(132)が2年連続大幅増加、<A方式>(85)は5年連続減少。
 - 歯(93)は、系統への低い人気も影響して2年連続減少。方式別では、<A方式>(93)、<N 1期>(93)はいずれもやや減少。
 - 松戸歯(75)は、系統への低い人気も影響して2年連続大幅減少。方式別では、<N 1期>(97)はやや減少だが、<A 1期>(65)、<A 2期>(77)はいずれも2年連続大幅減少。
 - 薬(85)は、3年連続減少。方式別では、<N 1期>(95)がやや減少だが、<A 1期>(82)は3年連続減少。
 - スポーツ科学(74)は、系統への低い人気も影響して大幅減少。方式別では、3方式とも大幅減少。特に<N 2期>(69)は、3年連続減少。
 - 生物資源科学(78)は、前年度<N 2期>を3学科から11学科に拡大したことによる大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、12学科全てが減少。特に(森林資源科学)(54)、(生物環境工)(56)の減少率が大きかったが、いずれも<N 2期>で理科を必須にしたことで(森林資源科学)<N 2期>(21)、(生物環境工)<N 2期>(30)と激減したことが影響。

2021 年度入試状況分析【私立大】

〈共通テスト利用方式〉

- 法(55)は、前年度大幅増加の反動で半減近い大幅減少。学科別では、(公共政策)(92)を除いた4学科が大幅減少。特に、(政治経済)(28)が激減。
- 経済(69)は、系統への人気低下と反動で大幅減少。学科別では、3学科全てで減少。特に、(金融公共経済)(39)、(産業経営)(40)が激減。
- 商(91)は、前年度半減以下に引き続き減少。学科別では、(商業)(104)がやや増加、一方で経営(78)は大幅減少で5年連続減少。
- 国際関係(69)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(国際総合政策)(62)が大幅減少、(国際教養)(82)は3年連続大幅減少。
- 文理(103)は、3年連続減少の反動でやや増加。今年度廃止された方式を除くと(104)のやや増加。実施2年目の(体育)(187)は周知が進み激増、系統への人気が高い(情報科学)(148)は大幅増加、(英文)(137)、(中国語中国文化)(130)、哲学(120)も大幅増加。一方で、(ドイツ文)(41)、(社会福祉)(57)、化学(80)、心理(85)が大幅減少。
- 工(91)は、3年連続増加の反動で減少。学科別では、系統への人気が高い(情報工)(117)が4年連続増加、それ以外の5学科はいずれも減少。特に、(土木工)(69)、(生命応用化学)(77)、(電気電子工)(83)、建築(85)は大幅減少。
- 生産工(83)は、大幅減少。学科別では、(創生デザイン)(106)のみ増加、(電気電子工)(99)が微減、これらを除く7学科はいずれも大幅減少。特に、(マネジメント工)(72)、(環境安全工)(72)、(応用分子化学)(74)、(数理情報工)(79)が減少率20%を上回る大幅減少。
- 理工(89)は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、(応用情報工)(104)がやや増加、(海洋建築工)(101)が微増だが、これらの2学科を除く12学科はいずれも減少。特に、電気工(64)、精密機械工(79)、機械工(80)、まちづくり工(84)、土木工(84)は大幅減少。
- 歯(76)は、系統への低い人気も影響して2年連続大幅減少。
- 松戸歯(84)は、系統への低い人気も影響して3年連続大幅減少。
- 薬(86)は、4年連続減少。